

(54) PACK

(11) 60-115506 (A) (43) 22.6.1985 (19) JP
 (21) Appl. No. 58-222306 (22) 25.11.1983
 (71) TANPEI SEIYAKU K.K. (72) YOUJI IWAYAMA
 (51) Int. Cl. A61K7/00

PURPOSE: An inexpensive pack suitable for packing the face or the whole body, comprising natural or synthetic clay mineral powder, rubber-like material of polysaccharide or synthetic paste powder and cellulose powder as essential components.

CONSTITUTION: A pack comprising 100pts.wt. natural or synthetic clay mineral powder (e.g., kaolin, bentonite, acid clay, diatomaceous earth, or talc), 10~20pts. wt. rubber-like material of polysaccharide or synthetic paste powder (gum arabic powder, or sodium carboxymethyl cellulose), 30~70pts.wt. cellulose powder (e.g., crystallite cellulose powder), and various kinds of crude drugs, extract powder, medicines, medicinal mineral powder, purified oil, fatty acid ester, glycols, perfume, preservative, coloring matter, etc. as additional components. This pack is distributed to consumers in the state of powder, and, when it is mixed with water or an oil, it is instantly made into a uniform muddy state without forming undissolved parts of the components.

(54) COSMETIC PACK

(11) ~~60-115507~~ (A) (43) 22.6.1985 (19) JP
 (21) Appl. No. 58-225217 (22) 28.11.1983
 (71) SUNSTAR K.K. (72) TAKASHI UMENO
 (51) Int. Cl. A61K7/00

PURPOSE: A cosmetic pack obtained by providing a muddy pack comprising bentonite, titanium oxide and ethyl alcohol as main components with improved shelf stability, by adding sodium carboxymethyl cellulose having specific etherification degree to the muddy pack.

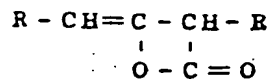
CONSTITUTION: An improved cosmetic pack of muddy type having no defects such as rise in viscosity, release of water, etc. during preservation period, obtained by blending (A) bentonite with (B) titanium oxide, (C) ethyl alcohol, and (D) sodium carboxymethyl cellulose having ≥ 0.75 , preferably 0.55~0.75 etherification degree. An amount of the component A is 8~10wt%, preferably 9~10wt% based on the total amounts of the composition, and an amount of the component D is 0.05~0.3wt%, preferably 0.1~1.2wt%.

(54) COSMETIC

(11) 60-115508 (A) (43) 22.6.1985 (19) JP
 (21) Appl. No. 58-221591 (22) 25.11.1983
 (71) KAO SEKKEN K.K. (72) JIYUNICHI FUKAZAWA(2)
 (51) Int. Cl. A61K7/02

PURPOSE: The titled cosmetic improved repellency, smooth feeling on the skin, wetting feeling, etc., obtained by blending cosmetic such as makeup cosmetic containing powder for cosmetic, body cosmetic, etc. with a specific alkylketene dimer.

CONSTITUTION: A cosmetic comprising (A) an alkylketene dimer shown by the formula (R is 1~36C aliphatic hydrocarbon group) and (B) cosmetic powder having the surface preferably treated with the component A, especially inorganic powder. The cosmetic has improved water repellency, spread on the skin, wetting feeling and smooth feeling, resistance to sweat and water, is capable of being pressed and molded into a pressed powdery makeup cosmetic such as foundation, eyeshadow, rouge, etc. An amount of the component B blended is 0.1~50wt%, preferably 2~20wt% based on the component B.



⑫ 特許公報 (B2)

平1-46485

⑤ Int. Cl.
A 61 K 7/00

識別記号 庁内整理番号
U-7306-4C
J-7306-4C

⑭ 公告 平成1年(1989)10月9日

発明の数 1 (全4頁)

⑬ 発明の名称 化粧用パック剤

⑮ 特 願 昭58-225217

⑯ 公 開 昭60-115507

⑰ 出 願 昭58(1983)11月28日

⑱ 昭60(1985)6月22日

⑲ 発 明 者 梅 野 高 大阪府高槻市登町174

⑳ 出 願 人 サンスター株式会社 大阪府高槻市朝日町3番1号

㉑ 代 理 人 弁理士 青山 葆 外2名

審 査 官 田 中 倫 子

㉒ 参 考 文 献 特開 昭57-112314 (JP, A) 特開 昭53-32130 (JP, A)

American Perfumer and Cosmetics Vol83. 8月号 P, 49 (1968)

1

2

㉓ 特許請求の範囲

1 ベントナイト、酸化チタン、エチルアルコールおよびエーテル化度0.55~0.75のカルボキシメチルセルロースナトリウムを配合したことを特徴とする化粧用パック剤。

2 ベントナイトの配合量が、組成物全体に対して8~10重量%である前記第1項の化粧用パック剤。

3 カルボキシメチルセルロースナトリウムの配合量が、組成物全体に対して0.05~0.3重量%である前記第1項または第2項の化粧用パック剤。

発明の詳細な説明

本発明は、皮膚の手入に用いる化粧用パック剤に関し、さらに詳しくは、いわゆる泥状の化粧用パック剤に関する。

従来より、皮膚中の角質に水分を与え、また皮膚の汚れを去除く化粧料として、パック剤が使用されており、これらは、形状面から、泥状パック、クリーム状パック、およびピールオフタイプパックに大別されている。

このうち、泥状パックに要求される特性としては、安全性の高いこと、使用時適度な粘度であつて塗布しやすいこと、皮膚に適度な緊張感を与えること、適度に短時間で乾燥すること、洗い流しが容易なこと、使用後しつとりとした快い感触が持続することなど、が挙げられる。これらの特性を達成するため、ベントナイトを主成分とし、乾

燥速度を速くするためにエチルアルコールを配合し、ベントナイトによる独特の色の悪さをカバーするために酸化チタン等を配合した泥状パックが提案されている。

5 しかしながら、これら従来の泥状パックタイプの化粧用パック剤は、保存期間中に粘度の上昇、離水等を生じ、商品価値が著しく損なわれることがしばしばであつた。

本発明者は、前記欠点のない、泥状タイプの化粧用パック剤を得べく鋭意研究を行なつた結果、特定エーテル化度のカルボキシメチルセルロースナトリウム（以下、Na-CMCという）を配合することにより良好な化粧用パック剤が得られることを見出し本発明を完成するに至つた。

15 すなわち、本発明は、ベントナイト、酸化チタン、エチルアルコールおよびエーテル化度0.55~0.75以下のNa-CMCを配合したことを特徴とする化粧用パック剤を提供するものである。

本発明によれば、ベントナイト、酸化チタン、エチルアルコールを主成分とする泥状パックに安定化剤として該特定エーテル化度のNa-CMCを配合したことにより、保存期間中における粘度の上昇、離水等の欠点のない優れた化粧用パック剤を得ることができる。

25 本発明の化粧用パックに配合されるNa-CMCのエーテル化度は0.75以下、好ましくは0.55~0.75である。Na-CMCのエーテル化度が化粧用

バック剤の性状に与える影響は、無機粉体を分散させた歯磨等の他の組成物の場合とは、明らかに異なっており、エーテル化度が0.75を超えると、放置によりゲル化を生じ、ペーストの外観が悪化する。つぎに、Na—CMCのエーテル化度が、泥状バックの性状に与える影響を第1表に示す。ここで、泥状バックの処方は、下記に従がい、常法にて製造した。

| 成 分 | 配合量(重量%) |
|-----------------|----------|
| ベントナイト | 10.0 |
| 酸化チタン | 3.5 |
| 精製水 | 67.5 |
| D—パンテノール | 0.1 |
| クエン酸 | 0.15 |
| ピロリドンカルボン酸ナトリウム | 0.50 |
| エチルアルコール | 10.0 |
| プロピレングリコール | 8.0 |
| メチルパラベン | 0.05 |
| Na—CMC | 0.2 |

また、評価の基準は、つぎのとおりである。

○：均一で滑らかな表面。

△：部分的に表面が滑らかでない。

×：表面が凹凸になって商品価値がない。

稠度：レオメーターNRM—20002J(フード工業(株)製)、エレベーター上昇速度 2 cm/min、アダプター直径10mm円盤

第 1 表

| Na—CMCの エーテル 化度 | 製造直後 | | 40℃ 1 ケ月 | |
|-----------------------|------|------|----------|------|
| | 性状 | 稠度 | 性状 | 稠度 |
| 0.50 | ○ | 13.0 | △ | 14.0 |
| 0.55 | ○ | 15.0 | ○ | 15.0 |
| 0.60 | ○ | 15.0 | ○ | 15.0 |
| 0.70 | ○ | 15.5 | ○ | 15.2 |
| 0.75 | ○ | 18.5 | ○ | 25.0 |
| 0.80 | ○ | 18.9 | △ | 25.5 |
| 0.91 | ○ | 19.2 | × | 28.0 |
| 1.38 | ○ | 17.5 | × | 30.0 |
| 1.68 | ○ | 19.5 | × | 32.0 |

第1表より明らかなごとく、エーテル化度の高

いNa—CMCを用いた場合ほど、放置下で、ゲル化を生じ、ペーストの外観も極めて悪くなる。

また、化粧用バック剤全重量に対するベントナイトの配合量は、8～10%、好ましくは、9～10%であり、Na—CMCの配合量は、0.05～0.3%、好ましくは0.1～0.2%である。つぎに、ベントナイトおよびNa—CMCの配合量と、化粧用バック剤の性能、安全性、安定性との関係を第2表に示す。ここで、泥状バックの処方は、下記に従がい、常法にて製造した。

| 成 分 | 配合量(重量%) |
|-----------------|----------|
| ベントナイト | 5 ～15 |
| Na—CMC | 0.1～0.3 |
| 酸化チタン | 3.5 |
| D—パンテノール | 0.1 |
| クエン酸 | 0.15 |
| ピロリドンカルボン酸ナトリウム | 0.50 |
| エチルアルコール | 10.0 |
| プロピレングリコール | 8.0 |
| メチルパラベン | 0.05 |
| 精製水 | 残量 |
| 合 計 | 100.0 |

また、性状についての評価の基準○、△、×は前記と同様であり、使用感については、10人中標記の結果を表明した人の割合で示した。使用時に痛みを訴えた人に関しては、使用を中止したので、ベントナイトを12%および15%配合した場合、使用後の肌の感触についてのデータは得られなかった。

第 2 表

| ベントナイト 配合量(%) | Na-CMC配 合量(%) | 製造直後の 性質 | 使用時の痛み を訴える人 | 使用後に肌の感触 が良くなった人 | 40℃、1ヶ月 後の性状 |
|------------------|------------------|-------------|-----------------|---------------------|-----------------|
| 5 | 0 | ×(流れる) | 0/10 | 2/10 | ×(分離) |
| | 0.1 | ○ | 0/10 | 3/10 | ×(分離) |
| | 0.2 | ○ | 0/10 | 2/10 | ○ |
| | 0.3 | ○ | 0/10 | 3/10 | ○ |
| 8 | 0 | × | 0/10 | 8/10 | ×(分離) |
| | 0.05 | ○ | 0/10 | 8/10 | ○ 0.05 |
| | 0.1 | ○ | 0/10 | 8/10 | ○ |
| | 0.2 | ○ | 0/10 | 9/10 | ○ |
| | 0.3 | ○ | 0/10 | 8/10 | ○ |
| 10 | 0 | × | 0/10 | 8/10 | ×(分離) |
| | 0.05 | ○ | 0/10 | 8/10 | ○ 0.05 |
| | 0.1 | ○ | 0/10 | 9/10 | ○ |
| | 0.2 | ○ | 0/10 | 8/10 | ○ |
| | 0.3 | ○ | 0/10 | 9/10 | ○ |
| 12 | 0 | ○ | 5/10 | | ×(分離) |
| | 0.05 | ○ | 5/10 | | ○ 0.05 |
| | 0.1 | ○ | 4/10 | | ○ |
| | 0.2 | ○ | 5/10 | | ○ |
| | 0.3 | ○ | 5/10 | | ○ |
| 15 | 0 | ○ | 8/10 | | △ |
| | 0.05 | ○ | 8/10 | | ○ 0.05 |
| | 0.1 | ○ | 9/10 | | ○ |
| | 0.2 | ○ | 8/10 | | ○ |
| | 0.3 | ○ | 9/10 | | ○ |

第2表より、ベントナイト、Na-CMCの配合量は、前記の範囲が好ましいことがわかる。

本発明の化粧用パック剤は、常法により製造することができる。製造にあたっては、ピロリドンカルボン酸ナトリウム、プロピレングリコール、グリセリン等の保湿剤、その他皮膚に有効なパンテノール等の薬効剤を配合してもよい。

つぎに、本発明を実施例にもとづき、さらに詳しく説明する。なお、実施例中、%は全て重量%である。

実施例 1～3

つぎの第2表に示す処方により、常法にて泥状パック化粧料を製造した。

第 2 表

| 組成物No. 成分(%) | 実施例 | | |
|-----------------|------|------|------|
| | 1 | 2 | 3 |
| ベントナイト | 10.0 | 8.0 | 10.0 |
| 酸化チタン | 3.5 | 3.5 | 3.5 |
| 精製水 | 67.5 | 70.0 | 68.0 |
| D-パンテノール | 0.1 | 0.1 | 0.1 |
| クエン酸 | 0.15 | 0.15 | 0.15 |
| エチルアルコール | 10.0 | 10.0 | 10.0 |

(4)

特公 平 1-46485

7

8

| 組成物No 成分(%) | 実施例 | | |
|-----------------|---------------|---------------|---------------|
| | 1 | 2 | 3 |
| ピロリドンカルボン酸ナトリウム | 0.50 | — | — |
| プロピレングリコール | 8.0 | 8.0 | — |
| グリセリン | — | — | 8.0 |
| メチルパラベン | 0.05 | 0.05 | 0.05 |
| Na-CMC(エーテル化度) | 0.2 (0.70) | 0.2 (0.60) | 0.2 (0.70) |

造直後、および40℃1ヶ月後においてゲル化を生じることなく好ましい性状を保持し、使用感覚および使用後の肌の感触も良くなった。

5

10

得られた泥状の化粧品パック剤は、いずれも製

第3部門(2) 特許法第64条の規定によ(平成4年7月27日)
る補正の掲載

公告特許番号

1 - 46485

昭和58年特許願第225217号(特公平1-46485号、平1. 10. 9発行の特許公報3(2)
-69(842)号掲載)については特許法第64条の規定による補正があつたので下記のとおり掲載
する。

Int. Cl.⁵
A 61 K 7/00

特許第1676207号
識別記号 庁内整理番号
7327-4C

記

- 1 「特許請求の範囲」の項を「1 組成物全体に対して8~10重量%のペントナイト、酸化チタン、エチルアルコールおよび組成物全体に対して0.05~0.3重量%のエーテル化度0.55~0.75のカルボキシメチルセルロースナトリウムを配合したことを特徴とする化粧用パック剤。」と補正する。
- 2 第2欄15~16行「本発明は、…エーテル化度」を「本発明は、組成物全体に対して8~10重量%のペントナイト、酸化チタン、エチルアルコールおよび組成物全体に対して0.05~0.3重量%のエーテル化度」と補正する。